

令和6年度 第6回 神戸市文化財保存活用地域計画協議会 意見要旨

1. 日 時 令和6年9月4日(水)10時00分～12時00分
2. 場 所 神戸市役所1号館 19階大会議室
3. 出席者
(委員) 7名 (欠席1名)
(オブザーバー) 兵庫県教育委員会文化財課 1名
(傍聴) 1名

【意見要旨】

(1) 令和5年度事業進捗報告

事務局: 詳細な報告は割愛し、活用の例として「神戸モダン建築祭」について報告。

(2) 重点事業進捗報告

事務局: 神戸歴史遺産・様々な連携による歴史的建造物の保存活用事業・五色塚古墳整備事業を報告。

委員意見

- ・教育委員会と連携して、小中学生を巻き込んだ取り組みを継続的に取り組んでほしい。見学の誘致にも積極的に取り組んでほしい。
- ・五色塚古墳周辺には歴史的な遺産もあるので、それらとの連携した活用も検討した方が良い。
- ・文化財の所有者や管理者を支えていくことは重要なことであり、そのために多くの人に参加できる取り組みの検討が必要。また、柔軟な考え方で文化財の保存・活用に取り組んでほしい。

(3) 令和6年度事業予定・(4) 文化庁主催「文化財保存活用地域計画連絡協議会」

事務局: 上記について報告。

委員意見

- ・神戸市は先進的な活用の取り組みをしているので、ぜひそれを発信してほしい。

3. 協議事項

事務局: 協議主旨説明。措置番号 76 に基づき、関連文化財群及び文化財保存活用地域を協議会で検討することを説明。

(1) 山間の寺院の活性化について – 太山寺地域をモデルとして –

委員意見

- ・太山寺に関連する方々の様子はどうか。保存活用を進める上で、中心になる所有者などへの向き合い方が重要。計画の立案時と結果が変わることも多いと思う。
- ・文化財をまもるという発信をするだけでなく、何のためにアピールしたいかを共有し、エリア愛を深め、リピーターをどれだけ増やせるかが大切だと思う。取り組みを通じて、自発的に文化財の保存・活用を担ってくれる人が生まれてくる。
- ・小学校との連携では、取り組みを行っている主体者が面白そうにやっていると児童が興味を

持つようになる。例えば、その文化財のガイドをしたいという子供も出てくることも。

- ・活用を行う上では、地元だけだとこじんまりしてしまいがちなので、移住者なども取り込むなど外部の人材を含め色々な人が入れるようなしかけが必要。
- ・太山寺には大学連携など既に色々な取り組みがあるので、行政はその色々な「芽」を繋いでいくことが必要。また、摩耶山の取組など神戸の先行事例を参考に市全体の底上げをしてほしい。長期的な視点で太山寺が持続的に取り組んでいけるように進めてほしい。

(2)海軍操練所の整備・活用

委員意見

- ・海軍操練所を中心として周辺地域の活用を検討する際は、海軍営の碑をはじめ、ゆかりのある文化財や歴史的遺産をうまく連携させてほしい。また地元だけではなく外部の人が参画することが大事だと思う。
- ・海軍操練所は全国的なものなので、三宮周辺だけで考えるのはもったいない。港の歴史は広範で関連するものが多いので各区で展開できると思う。
- ・回遊もいいが、来てもらえるような発信の取組としてやってみてはどうかと思う。発信を行う際には、歴史だけではなく、ロケ地やそれ以外の色々な要素を組み合わせることで、歴史好きだけではなくそれ以外に関心を持つ人も取り込めると思う。
- ・物語を作ろうとしたとき、今見えているものだけだと限界がある。歴史的事実とは異なるものになる傾向があるので、明治時代に書かれた書籍や古写真などの史料も活用することで、歴史的事実が反映されたものにすることができると思う。また、神戸は多くの文学作品に登場する。文学館とのコラボも検討してはどうだろうか。
- ・京都でも源氏物語に関連して、ゆかりの場所に趣のある説明板を設置し、現在は住宅化している場所であっても、当時の様子が想像できるような取り組みを行っていた。都市化した神戸でも当時の史料を活用して同様の取組もできるのではないか。
- ・外国人をはじめ訪問客の多くは、文化・歴史・芸術・地元の人と触れ合いを希望している傾向がある。だからこそ、文化財の活用を考える上でまず大切なのは物語性をつくることだと思う。それをしっかりと作り、それを活用してソフト(多言語や看板など)などを構築するのが良い。
- ・海軍操練所の取組は、県庁の再整備の動きとも親和性があるので、連携して取り組むことができると、相乗効果があると思うので、検討してほしい。
- ・神戸市の歴史文化の特徴の一番目の項目に交流についての歴史的特徴を挙げている。海軍操練所は神戸の歴史文化の1丁目1番地なので、これを核にどのように広げるかが重要。
- ・海軍操練所は全国的にも有名で、開港は世界史的なターニングポイントといえる。海軍操練所などの開港に係る遺産が神戸には多く残っている。今回、海軍操練所跡が保存できたこともあり、世界史規模の遺跡を核にして文化財の保存・活用を検討することは、大きな柱になると考えられるので、協議会でストーリーの肉付けできればいいと思う。